

〈实用版〉

現代国語辞典

監修

松枝茂夫

古田東朔

はじめに

ことばは生きものである。それは、時代とともに生長し、変化していく。これに従って、ことばの最小単位である単語も、あるいは意味を変え、死滅し、そしてまた新たに生まれてくる。大昔とはいわない。わずか百年前の日本人が生き返って、現代の日本語に接したとしたら、おそらく半分も理解できないだろう。それどころか、日本語であるとも思わないかもしれない。この変化は、第二次大戦後、とくにいちじるしい。

とりわけ日本語は、漢字のもつ造語力によって新語の造成が容易なうえ、表音文字である仮名によって外来語の移入も簡単にできるため、新語の増えかたは、世界に類がないほどである。

これは、時代の変化に対応し得るすぐれた特質ではあるが、一面では、少なからぬ混乱をもたらしていることも事実である。的確なことばの使い方が今日ほど必要とされるときはあるまい。

現代はコミュニケーションの時代である。耳にし、目にするおびただしい情報や相手のことばを正確に判断する一方、自己の意思も適切にひとに伝えなければならぬ。

本辞典は、こうした要求にこたえ、しかも多忙な現代人が簡便に活用し得ることを意図したものである。その特色とするところはつぎのとおりである。

一、実用性に重きをおき、日常業務、社会生活、家庭生活に必要な語をつとめて収録した。定着した時事用語・外来語・俗語などを多く収録した反面、先人たちの生み育てた味わいのある古語で現代にも生かし得る語にも

意を用いた。

一、漢字の功罪については、さまざまな議論のあるところだが、主要な漢字母を字音に従って配列した。これは漢字から成る熟語の意味をより正確に理解するためである。また、外来語以外の見出し語に、つとめて漢字を付したのも同様の趣旨であって、現代、常用されていないものも参考として記載した。なお、当用漢字については付録を参照していただきたい。

一、説明文には、見出し語の理解を助けるために、できるだけ用例を多くし、また同義語、対応語、誤用例なども加えた。

本書が読者各位の座右にあつて参考の用に供されるならば、刊行関係者にとりこの上ない喜びである。さらにもう、諸賢の御叱正を得て、より充実したものとなることを期したい。

一九七八年二月

監修

東京都立大学名誉教授 松枝 茂夫
東京大学教授 古田 東朔

責任編集 村山 孚・守屋 洋

執筆・編集協力者 (五十音順 敬称略)

市川 宏・大島知巳・奥平 卓・杉田一夫・竹内良雄・玉川信明・中上 守・中村 憲・丹羽隼兵・
花村 豊・丸山松幸・山谷弘之・和田武司

〔図版〕 稲田春美・島崎昌美・中島靖侃

〔ペン字〕 大貫思水

この辞典を使う人のために

一 見出し語の範囲と特色

この辞典は、中学生から一般社会人まで、社会生活に、日常実務に、必要で十分な次の種類の語を精選して全部で約五万二千語を取めた。

- 現代日常語
- 外国語・外来語
- 専門語
- 当用漢字を含む常用漢字

二 見出し語について

(一) 見出し語の表記

見出し語は、「現代仮名づかい」に基づき、太字の仮名を用い、「**」**の中に、その語の書き表し方を示した。ただし、見出し語の仮名とまったく同じ場合には省略した。

- 1 日本語・漢語は、平仮名で示した。

例 あいにく【愛育】

例 あいかん【哀感】

- 2 外国語・外来語は、片仮名で示し、長音には、「**ー**」を用いた。

例 アークード

例 アーチ

- 3 日本語・漢語と外国語・外来語・アルファベットとの混成語は、平仮名と片仮名との組み合わせで示し、片仮名に相当する部分は、「**」**を用いた。

例 すいせいガス【水性】

例 モールスふごう【符号】

- 4 外国語・外来語のうち、ローマ字で書き表すのが一般的である場合には、その形を示した。

例 エフエムほうそう【FM放送】

- 5 表記形がいくつかある場合は並べて表記した。

例 さんび【賛美・讚美】

例 ぶきみ【不気味・無気味】

- 6 三字から成る見出し語に他の語がついてできた複合語は、その親項目のあとに一括してまとめ、親見出しに相当する部分は、「**」**で示した。ただし、検索の便宜上、わずらわしいものは独立見出しとした。

例 きょうぶ【胸部】

例 しっかん【疾患】

- 7 送り仮名は、昭和四十八年六月内閣告示「送り仮名の付け方」に基づいて示し、許容として省くことのできる語は省いてもよい部分を()

で包んで表示した。なお、「送り仮名の付け方」については、巻末付録八〇「ページを参照のこと」。

【うかぶ】【浮(か)ぶ】

【らくがき】【落書(き)】

(二) 見出し語の配列

見出し語の配列は、すべて五十音順とし、次の順序によって配列した。

1 清音・濁音・半濁音の順

【ハット】 しゅうこう【周航】 しんぶん【新聞】

【バット】 しゅうごう【集合】 じんぶん【人文】

【パット】 じゅうこう【重厚】 じんぶん【人糞】

2 直音・促音・拗音(ようおん)の順

【さつき】【五月】 しゅう【私有】

【さつき】【殺気】 しゅう【収】

3 日本語・外来語の順

【はんと】【反徒】 いんき【陰気】

【ハント】 インキ

4 外来語の長音「ー」を含む語は、「ー」の音を長く発音した場合の音(母音)とみなして配列する。

【例】 アートは、アートの位置に置く。

【例】 イーグルは、イーグルの位置に置く。

三 解説文について

語釈・解説は、その語の基本的な意味を明らかにすることに留意するとともに、簡潔明瞭を旨とし、また、意味の理解を助けるために、用例をとめて多くおりました。

1 用例は、「ー」の中に包んで示した。

【例】 あげる【挙げる】①式などを行なう。

【例】 あげる【挙げる】「結婚式をー」②例をあげる。「一例をー」③得る。

2 用例のうち、意味の理解しにくいものや、ことわざなどについては、太字で示し、句全体の解釈を掲げた。

【例】 あご【顎】①口の上下にある器官。②下慢な態度で人を使う。——で使う 高

【例】 あいせき【哀惜】人の死などを悲しみ惜むこと。同哀悼。

3 見出し語の理解をいっそう深めるために、語釈のほかに、同義語・対応語(反対語)・誤用例などを解釈の終わりに掲げた。

【例】 あいせき【哀惜】人の死などを悲しみ惜むこと。同哀悼。

【例】 あさひ【朝日】朝の太陽。同夕日。

【例】 ああ【嗚呼】ものごとに感して出す声。同嗚呼。

四 一字漢字について

一字漢字については、当用漢字をはじめ、日常使われている非当用漢字をも含めて収録し、字音に従って配列した。

五 英訳について

英訳は、見出しの日本語の品詞にとらわれず、適確な訳語を掲げ、おおむね、次の法則に従って示した。ただし、相応する英訳の見あたらないものには、英訳を省いたものもある。

1 発音仮名の表記

(a) b と v b にバ・ビ・ブ・ベ・ボ、v はヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォと表記した。

【例】 back (バック) bench (ベンチ)

victor (ウィクタア) love (ラウ)

(b) h と f h はハ・ヒ・フ・ヘ・ホ、f はファ・フィ・フ・フェ。

フォと表記した。

例 hill (ヒル) hen (ヘン)
fast (ファースト) feat (フィート)

(c) 語尾が発音記号[or]でおわるものは[r]に相当するところに「ア」をつけた。ただし「ヤ」のあとの「ア」は省いた。

例 sister (スイスタア) teacher (ティーチャ)

(d) [t・d]は語尾以外はトウ・ドウとした。

例 street (ストウリート) dream (ドゥリーム)

ただし合成語ないし接頭語・接尾語などの付された語は語中の[t・d]も「ウ」を省きト・ドとした。

例 outside (アウトサイド) badly (バッドリ)

2 見出し語が片仮名の場合には、原つづりのみを掲げ、発音仮名は省いた。

3 日本独自のものには、ローマ字・イタリック体(斜体)で示した。

4 外来語のうち、英語以外のものには、その国語名を原つづりの下に示した。

例 design (フ) borshch (ウ)

六 付録について

付録は、当用漢字ベン字三体表をはじめ、現代語記に関する基本資料と日常生活・家庭生活に役立つよう、手紙ものしり小事典・冠婚葬祭ものしり小事典・年中行事など、実用かつ多目的な内容を収録した。

また、アルファベットによる略語集を、一括して巻末に収めた。

七 図版について

文字による解説だけではわかりにくい項目については、視覚的效果によって、理解をいっそう深められるように、図版・図表を豊富におりこんだ。

八 口絵地図について

巻頭口絵には、最新の資料に基づいた、斬新かつ正確なる日本地図を多色刷りで掲載した。

記号一覧表

		外国語		同
(和)	和製英語	(ド)	ドイツ語	同義語
(イ)	イタリア語	(フ)	フランス語	対応語・反対語
(オ)	オランダ語	(ポ)	ポルトガル語	書き・読みなどの誤用例
(ギ)	ギリシア語	(ラ)	ラテン語	見出し語の略
(ス)	スペイン語	(ロ)	ロシア語	用例。——は見出し語の略
(中)	中国語	無印	英語	…を見よ

五十音索引

わ 768	ら 738	や 713	ま 664	は 549	な 517	た 423	さ 257	か 90	あ 1
	り 744		み 677	ひ 582	に 527	ち 450	し 281	き 137	い 25
	る 754	ゆ 721	む 688	ふ 605	ぬ 535	つ 467	す 367	く 174	う 47
	れ 756		め 695	へ 633	ね 537	て 477	せ 383	け 191	え 59
	ろ 762	よ 729	も 704	ほ 643	の 543	と 494	そ 408	こ 214	お 70

付録目次

目次	七三
当用漢字音訓・ペン字三体表	七四
当用漢字音訓表「付表」	七九
当用漢字補正案・新漢字表試案	七九
人名漢字について	八〇
送り仮名の付け方	八一
ローマ字のつづり方	八四
かな書きが望ましい語	八五
手紙ものしり小事典	八八
冠婚葬祭ものしり小事典	八八
年号対照表	八六
物の数量と呼び方	八八
国民の祝日と記念日・年中行事	八〇
千支順位表・方位表・時刻表	八三

郵便番号簿の見方	2	四国	香川県	61
郵便利用のご案内	2		徳島県	62
			高知県	63
関東	東京都	九州	愛媛県	64
	神奈川県		福岡県	66
	千葉県		佐賀県	68
	茨城県		長崎県	69
	栃木県		熊本県	71
	埼玉県		大分県	73
	群馬県		宮崎県	75
	山梨県		鹿児島県	77
信越	長野県	沖縄	沖縄県	78
	新潟県	北陸	福井県	79
東海	静岡県		石川県	81
	愛知県		富山県	83
	岐阜県	東北	山形県	86
	三重県		宮城県	88
近畿	滋賀県		山形県	90
	大阪府		秋田県	92
	京都府		岩手県	94
	奈良県		青森県	96
	和歌山県	北海道	北海道	97
	兵庫県			
中国	鳥取県		郵便番号順集配郵便局	108
	島根県		郵便番号変更案内	119
	岡山県		旧市・郡・町・村一覧	124
	広島県		全国都市一覧	126
	山口県			

郵便番号についてのお願い

1 皆さまのご理解とご協力によりまして、現在、郵便物の約96パーセントに郵便番号が記載されており、郵便物をスムーズに処理するのに大変役立っています。しかし、郵便番号が所定の位置にはっきり書かれておりませんと、機械で読み取ることができないばかりでなく、人手による場合でも読み間違いをするおそれがありますので、次の「お願いしている書体例」のような数字で赤い記入わくの中に黒か青で1字ずつはっきりとお書き願います。
なお、大型の郵便物や小包にも郵便番号をお書きください。

●お願いしている書体例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

2 あて先だけでなくご自分の住所にも郵便番号をお書き願います。

3 郵便番号を間違ってお書きになりますと、その郵便物の配達を受け持つ郵便局に運ばれず、郵便物が置れるなどの事故のもとになることがありますので、正しい郵便番号をお書き願います。なお、郵便番号を正しくお書きになれば、都道府県名は省略できます。

4 その他のお願い

- 郵便切手は、郵便物の表面の左上部(横に長いものにあっては右上部)におはりください。
- ホッチキスで郵便物の封をすることは、郵便物の取扱中に封かはかれるなど損傷のおそれがありますので避けてください。

あ

あ[亜] ①次の「の」意。「亜熱帯」 ②亜細

あ[阿] ①まがりかど。「曲阿」 ②阿弗利加

あ[啞] おし「聲啞」 啞然

ああ[嗚呼] ものごとに感じて出す声。

アーケトウ ①二本の炭素棒に電

アーケようせつ ①溶接 ②二つの電

アーケード ①通路に屋根をつけた商店

アーサ[ASA] ①アメリカ標準規格協

アース ①地球。大地。 ②テレビ。せんだく

ダム 粘土質の土の中に入れてつくつ

アーチ ①窓・門・橋を石やレンガで半円形

ダム 水圧に耐えられるよう弓なりの

アーチエリー 洋式の弓。

アーチスト 芸術家。

アーティフィシャル ①人工的。人為

アート 芸術。

紙 表面がなめらかでつやの

シアター ①一般の映画館で上映しに

ディレクター ①広告や宣伝に關す

アームチェア ひじかけいす。安楽い

アーメン (プロイ語で「そうあれかし」の

アーモンド シア原産。果実の核を食用。

アル 面積の単位。一アルは二〇〇平

あい[哀] ①悲しいこと。 ②悲哀。 ③あわれ

あい[愛] ①かわいがらる。 ②愛情。 ③母性愛。

あい[相] 互いに。 ①しよの。 ②「相客」

あい[藍] ①タデ科の一年草。葉や茎から

あいあい[藹藹] なじやかなさま。 ②「和

あいあいがさ[相合い傘] 男女が一

アイアン ①鉄。鉄製品。 ②ゴルフで、鉄

あいいく[愛育] かわいがってそだてる

あいいれない[相容れない] 性格や

異なっていて、互いに一致しない。

あいいろ[藍色] 藍で染めた青。紺と青

あいりん[合印] て、合っていることを

あいりんか[愛飲家] 酒などを好んで

あいうち[相打ち・相討ち] ①両方が

あいえんか[愛煙家] たばこの好きな

あいえんきえん[合縁奇縁] 気が合

あいおい[相生(じ)] ①一緒に成長す

あいかが[哀歌] 悲しい心をうたった歌。

あいがり[相懸(か)] 敵味方が

あいかが[合鍵] その錠に合う別のか

あいかた[相方] ①相手。 ②客の相手を

あいかた[合(い)方] ①能。話のはやし

アイカメラ 視線の動きをとらえる実験

あいがも[鳴鴨] の子。食用。

あいかわらず[相変(わ)らず] ①いつ

あいかん[哀感] 悲しい感じ。あわれな

あいかん[哀感] 悲しみと喜び。

あいかん[哀感] 悲しい感じ。あわれな

あいかん[哀感] 悲しみと喜び。



あ

あいがん【哀願】つら事情を述べて切に願うこと。嘆願。エンペリリーティ
 あいがん【愛玩】かわいがること。Fondling
 フォンドリング
 あいぎ【合(い)着】春秋に着るもの。合衣服。スプリング・スーツ
 あいぎどう【合気道】柔術の一つ。闘争。Aikido

あいきやく【相客】同室に泊まり合わせとお客のわがが特色。 fellow guest
 フELLOW・ゲスト
 アイキヤツチャャー【表現方法。色や形などを工夫した絵柄で広告・標識に用いる。】 eye catcher

あいきよう【愛敬・愛嬌】①にこやかにすること。②あいそのいいこと。おせじ。 amiability
 エイミビリティ
 あいきよう【愛郷】生まれ故郷を愛すこと。 love of one's native place

あいくち【合口】①互いに話やうまが合つた合口。②ものない短刀。九寸五分。「匕首」ともかく。 good companion
 グッド・カンパニョ

あいくるしい【愛くるしい】たいへんかわいらしい。 charming
 チャーミング
 あいけん【愛犬】だいにかがわいがつて飼う犬。「一家」 pet dog
 ペット・ドッグ
 あいこ【相子】「これでお」。勝負なし。 tie
 タイ

あいこ【愛顧】目をかけてひききたてやすること。ひいきにする。 patronage
 パトナージュ
 あいこ【愛護】「動物」と。 protection
 プロテクション
 あいこ【愛好】愛し好むこと。附纏態。 love
 ラブ

あいこく【愛国】自分の生まれた国を愛すること。「一心」 patriotism
 パトリオティズム
 あいこば【合言葉】①合図のこと。 watchword
 ワッチワード
 ②主義主張の中

ウツマツワード

心になることば。
 アイコノスコープ テレビジョンの撮像管の一種。真空管中にある光電面の上に陰極線が走査して、像の各部分を電流にかえる装置。 iconoscope
 あいごま【間駒・合(し)駒】将棋で王様を動かす。間に駒を打つこと。 algonza
 あいさい【愛妻】①愛する妻。②妻を大に敬ぶこと。 beloved wife
 ビラウド・ワイフ
 あいさつ【挨拶】①社交上必要な儀礼的動作やことば。②返事。 greeting
 グリーティング
 対応。

あいし【間紙】汚れやすさを防ぐため、物と物との間にはさまる紙。 paper inserted between things
 あいし【哀史】悲しい歴史。あわれな物語。 sad story
 サッド・ストーリー
 あいし【愛児】親がかわいがっている子ども。 dear child
 ディア・チルド
 あいし【愛車】大切にしている乗用車。 my car
 マイ・カー

あいじやく【愛着】①ものに執着すること。②愛情にひかれて離れないこと。あひやく。 attachment
 アタッチメント
 あいしゅう【哀愁】もの悲しく寂しいこと。 pathos
 パイソス
 あいしゅう【相性・合性】人と人との性質がうまく適合すること。 congeniality
 カンチニエリタテ

あいしゅう【愛妾】男が入りのめかけ。 concubine
 コンキュービーン
 あいしゅう【愛称】親しみの気持ち。親しむの愛称。 pet name
 ペット・ネーム
 あいじよう【愛情】愛する気持ち。異性の愛の名まえ。 affection
 アフェクション
 あいじん【愛人】①愛している人。②恋人。 lover (男)
 ラヴァー
 アイシング 砂糖と卵白をねったもの。icing
 や、煮とかした砂糖を洋菓

子の表面にぬって乾燥を防ぐ。
 アイシンググラス チョウザメなどの浮き袋でつくったセラチン。料理に用いる。 isinglass
 アイス①水。②アイスクリームの略。 ice
 ショー アイス・スケートにより水上でダンス・曲技・演劇などを演ずる見世物。 ice show
 ホックス 水を使って冷やす小型の冷蔵庫・携帯用冷蔵庫。 icebox
 ホッケー 氷上でスケート競技。 ice hockey
 ホッケー おこなうホッケー競技。 ice hockey

あいざ【合図】前もって知られておいた方法で相手に知らせること。 signal
 シグナル
 アイスバーン 氷化して固まった雪面。 Eis Bahn (エ)

あいする【愛する】①かわいがり大切に好む。②恋する。 love
 ラブ
 あいせき【相席】飲食店などで、他の客と同居すること。 share a table
 シェア・テーブル
 あいせき【哀惜】人の死などを悲しみ惜しむこと。同哀悼。 condolence
 カンドゥレンス
 あいせき【愛情】おしんで大切にすること。同愛慕。 lamination
 ランタメンション
 あいせつ【哀切】たいそう悲しく切ないこと。 sorrowfulness
 ソロウfulness
 あいぜん【愛染】①愛に染まること。②煩悩。 carnal desires
 Eisen (ア)

アイゼン 氷雪上を歩くとき登山靴の底につける鉄のかんじき。 Eisen (ア)
 あいそ【愛想】①人あたりのよいこと。②困不愛想。③もてなし。 amiability
 アミビリティ
 あいぞう【愛憎】愛することと憎むこと。 love and hatred
 アイソトープ 原子番号が同じで原子量の異なる元素。同位体。 isotope
 同位元素。

アイソトープ 原子番号が同じで原子量の異なる元素。同位体。 isotope
 同位元素。
 りょうほう【療法】放射線アイソトープ isotope therapy

プによる療法。

あいぞめ【藍染め】藍で染められたこと、また染めたもの。

あいだ【間】①物と物とはさまれた部分。②時間などのへだたり。③あいだから。「親子の—」

から【間柄】あい。①関係。②関係など。つきよく

あいたい【相対】①対する。直接交渉。②対等であることを行なう。「—死」

あいたい【相対する】①対立する。②対抗する。「敵味方—」

あいちやく【愛着】ひあひじゃく。

あいちよう【哀調】もの悲しい調子。

あいちよう【愛鳥】鳥を愛すること。

あいうかん【週間】野鳥を大週間にする。毎年五月十日から一週間。

あいつ【彼奴】(そんざいないかた)あの男。あのやろう。

あいづち【相槌】人の話に調子を合わせること。「—を打つ」

あいて【相手】①事をともにする人。仲。②競争者。③対象者。

—しだい【—次第】って、こちらの態度を決めること。

アイディア ①観念。考え。②理念。③着想。思いつき。

アイディアリズム ①観念論。唯心論。②理想主義。

あいでし【相弟子】同じ先生について学ぶ人。同門。

アイデンティティ 自己であるとの確信。主体性。自己が自己であるとの確信。

あいどう【哀悼】人の死を悲しむいたむこと。

体験。

あいどう【哀悼】人の死を悲しむいたむこと。

lament ラメント

あいどく【愛読】好んで本などを読むこと。「—書」

アイドル 人気者。恋人。

あいなめ【鮎魚】アイ科の海水魚。磯釣りの対象となる。アブラナ。

あいにく【生憎】都合わるく。

おりあしく。—の留。守。融合性。unluckily

あいのこ【合(い)の子】①異なる人種生まれた子。混血児。雑種。②心からともつかぬもの。間の子。

あいのて【合(い)の手】①日本音曲で入れる楽器の演奏。②話やものとの進行中に入れるかけ声やことば。

あいのり【相乗り】①自動車などに一緒に乗ること。②馬をならべて乗っていくこと。

あいは【愛馬】かわいがって大切にしている馬。

あいはん【合(い)判】印。

アイバンク 目の銀行。死後、角膜を人に贈る機関。

アイビー アメリカの大学生風のこと。Ivy (イビ)は名門大学の象徴。

—ルック 若向き紳士服のスタイル。Ivy look

あいびき【合(い)挽き】牛肉と豚肉がある挽き肉。

あいびき【相引き】①互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。

あいびき【相引き】互いに引っぱりあうこと。②敵味方がともに退くこと。③融合性。



【あいなめ】

あいぶ【愛撫】①やさしくなでること。②かわいがること。

あいふく【合(い)服】春秋に着る洋服。合(い)着。

あいべや【相部屋】旅館などで同じ部屋に泊まること。

あいぼう【相棒】①相手。仲間。②かたがとが相手。融合棒。

アイボリー ①象牙。②象牙色。③象牙色。

あいま【合間】①時間や仕事の間。②ひま。

あいま【曖昧】①はっきりしないこと。あやふや。②不明。

—も【—模糊】ぼんやりかすんでしなくこと。はっきり

あいみだが【相身互い】互いに助け合うこと。お互いさま。武士は—。

あいよう【愛用】好んでいつも使うこと。使いつけ。

あいよく【愛欲】男女の性愛の欲望。情欲。

あいよこ【相四つ】相撲で、両力士の得意な手が同じ。意な差し手が同じ。

あいらいし【愛らしい】かわいらし

アイリス ①アヤメ科植物の属名だが、普通はスパンニッシュ・アイリス、ジャーマン・アイリスなどをさす。②眼珠の虹彩。③レンズの絞り。

あいろん ①皮肉。②反語。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

あいろん 熱で衣服や布地のしわをのばす道具。

caress カレス

spring suit スプリング・スーツ

sharing a room パートナ

ivory

interval インターバル

vague ヴェイグ

vague ヴェイグ

mutual sympathy ミューチュアル・シムパシー

habitual use ハビチュアル・ユース

passions パッションズ

grapgle with グラブル・ウィズ

the same style 同じスタイル

lovely ラブリー

iris アイリス

iron アイロン

iron アイロン

iron アイロン

iron アイロン

iron アイロン

iron アイロン

iron アイロン

あう【会う】①対面する。②面会する。

あう【遣う】①めぐらさる。偶然にあう。

アウタルキー ①自転車、卓球などで、一定の線外
らず自給化すること。②

アウト ①野球、卓球などで、一定の線外
でボールが出ること。②イン、

野球で、打者や走者が権利を失うこ
と。③アウト。

コーナー ①野球で、ホーム・プレート
の打者に遠いほうの角。外

角。②イン・コーナー。

サイダー ①局外者。門外漢。②カ
ルテルや協定に加入して

いない業者。③インサイダー。

サイド ①外側。②外観。③インサイド。

アウト ①出力。②産出。③電算機で
データをとりだすこと。④イ

ンボックス。ボックスで、相手に
接近せず離れて打つ戦

法。⑤インフット。

ライン ①物事の輪郭。②あらまし。

ロー ①無法者。ならず者。②社会秩
序からはみだした者。

あうん【阿吽・阿仏】①初めと終わり。
②出す息と吸う

息。「一」の呼吸。

あえぐ【喘ぐ】①せわしく呼吸する。息
をきらす。②苦しむ。

あえて【敢えて】①しめて。無理に。②
少しも。必ずしも。

あえない【敢えない】ろい。はかない。も
つけない。あつけない。も

「一」最期。

あえもの【和え物】野菜や魚介類をあ
えた料理。

あえる【和える】野菜、魚介類などを酢、
味噌、ごまからしなど

でまぜ合わせる調理法。

あえん【亜鉛】青白色のろい。金属元
素。元素記号 Zn。トタン

板・写真製版・電池などに用いる。

か【華】①亜鉛を空気中で熱して製
した白い粉末。

てつばん【鉄板】トタン板。

あお【青】①三原色の一つ。暗れた空の
色。②緑色にもいう。③若い。

あおあお【青青】①一面に青いさま。
②一面に青いさま。

あおい【葵】①アオイ科の
植物。たちあ

おい。ふたばあおいの俗
称。②徳川家の紋所。

あおいきていき【青息
吐息】非常に困って嘆く
こと。Great distress

あおいろしんこく【青色申告】規定
簿を備えることで特典を受けられる申
告納税制度。用紙の色でいう。

あおうなばら【青海原】青々とした広
大な海。

あおうみがめ【青海亀】熱帯の海にす
む甲羅に暗黄
色の斑点があるかめ。肉は食用に、甲
ろはべっこう細工に用いる。

あおがえる【青蛙】①背が緑色のかえ
り。②とのさまがえ

あおかび【青黴】アオカビ属の子囊菌の
総称。もち・パンなど

あおがけ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】青々としていた植
物が急に枯れるこ
と。

あおがけ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料

あおがれ【青枯れ】かび類を葉の青いう
ちにもりとり、肥料



【あおい】

びよう【病】主にナス科植物の
細菌性の病気。葉が
急に黒褐色に変わり枯れる。

あおき【青木】①生木。②常緑針葉樹。
冬に実が赤く熟す。ごく一般的庭木。

あおきす【青鯿】キス科の魚。塩焼きな
どにする。

あおぎり【青桐】アオギリ科の落葉高
木。庭木・街路樹など
に用い、材は建具・家具などにす。梧桐。

あおぐ【仰ぐ】①上を向く。「天を—」
を言う。②尊敬する。

あおぐ【扇ぐ、煽ぐ】扇子やうちわで風
を送る。

あおぐさ【青草】青々とした草。

あおぐさい【青臭い】①青草のような
においがする。
②未熟である。

あおぐかな【青魚】背の青い魚の総称。
さば、いわしなど。

あおぐめ【青鮫】ネズミザメ科の海水
魚。熱帯の外洋に分布
する。かまぼこの材料となる。

あおぎめる【青褪める】①恐怖などで
顔色が青くなる。
②病気で顔色が悪い。

あおじゃしん【青写真】①図面など青
地に白で表わ
した写真。②設計図。未米図。

あおじろい【青白い】①顔色が青みがか
つて白い。②瓶の
色が悪い。「—きインテリ」

あおしんごう【青信号】①交通機関の
進行信号。②
安全信号。③赤信号。

あおすじ【青筋】①青色の筋。②皮膚の
上から見える静脈。

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

あおせんくいき【青線区域】売春防
止施設

bacterial wilt

gold-leaf plant

silago

paunownia

holubovnia

look up

fan

green grass

grass-smell-ing

bluish fish

bontio shark

turn pale

blueprint

pale

blue signal

blue vein

blue light

blue light

blue light

blue light

blue light

blue light

blue light

blue light

行以前、飲食店の営業許可だけで、売春公認の赤線区域と実質的に同じ営業をしていたモダリ赤青街。因赤線区域、あおぞら【青空】天でする催しの形容。

「市場」一劇場。あおた【青田】①種の色が青とした田。②

がり【刈り】①未成熟の稲を刈ることを。②卒業前

の学生と早めに入社契約をする。あおだいし【青大将】種。暗い緑

色の体をし、鳥の卵やネズミを襲う。あおだたみ【青畳】新しい青々とした

あおたん【青短】花札の青色の短冊をかいた札。花札の役。

あおづけ【青漬(け)】まの色の失わないうようにつけたつゆ物。一種。

あおてんじ【青天井】①青空。②かぶらなど。——に塩

人が元気を失いしよげかえるたとえ。あおにさい【青二才】年若く経験の浅

あおのけ【仰のけ】上を向く。あおむあおのり【青海苔】磯辺の岩につく緑

藻類の海藻。食用。あおば【青葉】①緑色の木の葉。②若葉

あおひょう【青票】議会で採決のとき反対の意思表示に

使う青い札。せいひょう。因白票。あおひょうたん【青瓢箪】①熟して

悪い人をあざけつていう言葉。②料理あおみ【青味】①青い色。②料理

の吸物・刺身などにそえる緑色の野菜。

blue sky ブルー・スカイ

green paddy グリーン・パディ

green crop in labor market

blue green snake

new mat

Aden

pickled greens

blue sky ブルー・スカイ

crest fallen

greenhorn

green laver

green leaves

blue ballot

pale-faced person

blue tint

あおみどろ【水綿・青味泥】水田・沼池に生える糸状の緑藻。

あおむく【仰向く】上をむく。因うつむ

あおむし【青虫】チョウ・ガなどの幼虫。

あおも【青物】①野菜類の総称。②青魚のこと。

あおやき【青柳】①青々とした柳。②は

あおりいか 刺身・するめ用。みずいか。

あおる【呷る】酒などをぐいぐい飲む。

あおる【煽る】①風が物を吹き動かす。

あか【赤】①三原色の一つ。血のような

あか【垢】①皮膚にたまっていた汚れ。②け

あか【塗】船底にたまっていた水。船塗。

あかいえか【赤家蚊】蚊の一種。日本

あかいね【赤い羽根】民間社会事業

あかえ【赤絵】白磁に赤を主調として上

あかえび【赤鰯】アカエイ科の海底魚で

pond scum ボンド・スカム

look up

caterpillar

vegetables

green willow

clam

calamary

tan

Red

Red

dirt

bilge water

common gnat

Community chest

stingaree

あかがい【赤貝】フネガイ科の二枚貝。肉が赤い。すしや三杯

あかがえる【赤蛙】赤茶色で斑点のあ

あかがね【銅】色。暗赤色の金属。銅

あかかぶ【赤蕨】赤い小さなかぶ。サラ

あかがみ【赤紙】①赤い紙。②もとの

あかきれ【輝】寒さのため手足の皮が裂

あが【足掻く】をかく。②もがく。③都

あかゲット【赤】①赤い毛布。②都

あか【藜】アカザ科の一年草。若葉を食

あかさび【赤錆】鉄などにできる赤色の

あかし【証】①証明。「身の証を立てる」

あかじ【赤字】①赤い。③収入より支出が

アカシア【マメ科の熱帯植

あかしお【赤潮】海水中の

art shell アート・シェル

reddish brown

copper

red paper

chap

red blanket

wild spinach

red rust

proof

deficit

【アカシア】



あかじみる【垢染みる】あかでよこれ
become priny
ビカム・グライミー

あかしんごう【赤信号】停止信号。②
red signal
レッド・シグナル

あかしんぶん【赤新聞】私生活暴露や
yellow journal
イエロー・ジャーナル

あかす【明(か)す】①徹夜する。②うち
confess
コンファス

あかせんくいき【赤線区域】止法施
red light
レッドライト

あかだしじる【赤出し汁】①大阪風
Akadashi jiru
アカダシ

あかたん【赤短】花札の赤色の短冊をか
Akatan
アカタン

あかちやける【赤茶ける】色があせ
get discolored
ゲット・ディスコラ

あかつき【赤】①マーカー。②赤
mercurochrome
マーキュロクロム

あかつき【暁】①夜明け。明けた。②物
dawn
ドーン

あがつたり【上がつたり】商売・事業
slack
スラック

あかつき【赤土】鉄分を含み、赤く黄ば
red clay
レッド・クレイ

アカデミー【学問・芸術の研究・指導
academy
アカデミー

②大学・大学院・研究所などの総称
Academy aw-
アカデミー

—しよ【賞】権威ある年度別の
ards
アールズ

賞。賞の像の名でオスカー賞という。
Academism
アカデミズム

アカデミック【学問的・学
academic
アカデミック

究的。図シジャーナリスト
academic
アカデミック

③非実際的

あかでんわ【赤電話】店先などにおく
pay telephone
ペイ・テリフォーン

あかどんぼ【赤蜻蛉】小形で赤い。とん
red dragonfly
レッド・ドラゴン

あがなう【贖う】①金品で罪をつぐなう。
atone
アトーン

あがなう【贖う】②うめあわせ。
buy
バイ

あかぬける【垢抜ける】すつきりと洗
refined
リファインド

あかね【茜】アカネ科の多
madder
マダー

あかはじ【赤恥】ひどい恥。大恥。「人
disgrace
ディスグレイス

あかはた【赤旗】①赤い旗。②
red flag
レッド・フラッグ

あかはだか【赤裸】すっぱだか。まるは
stark naked
スターク・ネイキド

あかふだ【赤札】赤い札。商店で、見切
red label
レッド・レイベル

あかへた【赤下手】非常に下手なこと。
bung ling
ブンギン

あかぼう【赤帽】駅で乗降客の手荷物を
porter
ポーター

あかほん【赤本】①江戸時代に行なわれ
penny-dre-
ペニー・ドレ

あかまつ【赤松】地多く樹皮が赤褐
Japanese red
ジャパニーズ・レッド

あかみ【赤味】赤色を帯びた。赤色の程
red tint
レッド・ティント

あかみ【赤身】①動物の赤い肉。②白身
lean meat
リーン・ミート

あかみ【赤身】③木材の中心の赤い部分。



あかね

あかみそ【赤味噌】麦こうじを入れて
Akamiso
アカミソ

あがめる【崇める】尊び敬うこと。
worship
ワラシブ

あかもん【赤門】①朱塗りの門。②東京
red gate
レッド・ゲイト

あからがら【赤ら顔】赤みをおびた顔。
ruddy face
ラディ・フェイス

あからさま【あからさま】はっきりしていること。あ
plain
プレーン

あかり【明(か)り】①光。②灯火。③疑
light
ライト

—まど【窓】室内に光を取り入れる
sky light
スカイ・ライト

あがり【上がり】①ばえ。②でき
rise
ライズ

③利益。収獲。「今日の—は少ない」
finish
フィニッシュ

④「あがり花」の略。とくに飲食店な
entrance frame
エントランス・フレーム

—かまち【框】家の上がり口。入口。
entrance floor
エントランス・フロア

—はな【花】せんじたばかりの茶。
fresh-drawn
フレッシュ・ドローン

—ゆ【湯】風呂からあがるときかけ
running hot
ランニング・ホット

あがる【上がる】①上がる。高くなる。
go up
ゴー・アップ

あがる【挙がる】②持ちあがる。引きあ
be caught
ビー・caught

あがる【揚がる】①上へ高くなる。②
lift
リフト

あがる【揚がる】③揚げ物が出来る。
lift
リフト

あがる【明るい】①光が十分にせし
bright
ブライ

あがる【明るい】②よく見える状態。
bright
ブライ

あがる【明るい】③物事によく通じ
bright
ブライ

あがる【明るい】④明るといふこと。
in the light
イン・ザ・ライト

あがる【明るい】⑤世間の場所。「事
in the light
イン・ザ・ライト

あかん だめだ。いけない。(関西で多く使われる)

あかんたい【亜寒帯】 温帯のうち寒帯に近い地域。 make faces

あかんべい 下まぶたを引き下げ、目裏の赤い部分を見せて、拒否や軽べつの意思表示をするしぐさ。

あかんぼう【赤ん坊】 生まれて間もない子ども。同赤子。 baby

あき【秋】 四季の一つ。陽曆では、九月から十一月まで。 オートム

あき【明き・空き】 ①あいたところ。スペース ②ひま。③欠員。空席。 weariness

あき【飽き】 いやになること。「—がくわいアブリス

あきあきする【飽き飽きする】 すっぱいことになる。「—がくわいアブリス

あきあじ【秋味】 鮭さけの異称。塩煮。 salmon

あきおち【秋落ち】 ①秋の収穫まじわり見込みが安くなること。②豊作。 オートムナル・ブライド

あきかぜ秋風 ①秋に吹く風。②男女の仲で、相手がいやになること。「—がくわいアブリス

あきかん【空(き)罐】 なにも入っていない。 empty can

あきぐち【秋口】 秋の初め。初秋。 early autumn

あきさめ【秋雨】 秋に降る雨。秋の雨。 autumn rain

あきしょう【飽き性】 物事に飽きやすいう性質。 Fickle

あきしろ【明き白】 印刷物・文書などの余白。空白。 margin

あきす【空(き)巣】 留守宅をねらう盗賊。 sneak thief

あきたいぬ【秋田犬】 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたいぬ 秋田県に産する大形の日本犬。 Akita dog

あきたりない【飽き足りない】 十分満足できない。もの足りない。 unsatisfactory

あきち【空(き)地】 家など建っていない土地。 vacant land

あきつばい【飽きつばい】 あきやすかプリシヤス trade

あきない【商い】 ①品物の売買。商売。 ②売上高。 ③売。 ④売。 sell

あきなすび【秋茄子】 秋にとれるなすび。 autumn egg-plant

あきのそら【秋の空】 秋の空は天候が定まらず変わりやすいことから、心の変わりやすいくとたとえる。「女心」 sky

あきのななくさ【秋の七草】 秋に咲く七種の花。はぎ、おぼななでしこ、くすのおみなえし、ふじばかま、ききょう。 ①秋。 autumn

あきばし【秋場所】 相撲の本場所の七草。はぎ、おぼななでしこ、くすのおみなえし、ふじばかま、ききょう。 ①秋。 autumn

あきばれ【秋晴れ】 よく晴れたつらつとした秋の空。 fine autumn day

あきびより【秋日和】 秋らしく、晴れたつらつとした天気。 lovely autumn day

あきびん【空(き)瓶】 なにも入っていない瓶。 empty bottle

あきまつり【秋祭り】 秋に行なわれる祭。 autumn festival

あきめくら【明き盲】 ①外見は目があるが視力が弱い。 ②文字の読めない人。文盲。 illiterate

あきや【空(き)家】 人の住んでいない家。 vacant house

あきらか【明らか】 ①明るいきさま。 ②事柄がはっきりしているさま。「事実が—になる」 clear

あきらめる【諦める】 断念すること。 give up

あきる【飽きる】 ①十分に満足する。 ②いやになる。 ③飽きる。 be tired of

あきれかえる【呆れ返る】 たいへん驚かされる。 dumb

アキレスけん【踵】 ①かかとの上にある人体最大の強いけん。歩行・運動に必要。 ②人の唯一の弱点に對して。 Achilles' tendon

あきれる【呆れる】 ①意外なにとおどろく。 ②あいそをつかす。 be astonished

あきんど【商人】 ①商人。 ②しょうにん。 merchant

あく【灰汁】 ①灰を水に浸してこした土性質や文章などのどきどき。 ②人の性根や文章などのどきどき。 ③人が抜けるいやなこと。「悪事」 badness

あく【悪】 ①わるいこと。 ②悪徳。 ③悪徳。 ④悪徳。 badness

あく【握】 ①にぎむ。 ②握手。 ③握手。 ④握手。 badness

あく【空】 ①からになる。「席が—」 open

あく【開く】 ①閉まっていたものがひらく。 ②物事が始まる。 open

あく【洗い】 ①灰汁で洗うこと。 ②洗うこと。 washing with lye

あく【アカラング】 圧縮空気・ボンベなどをつけた潜水用具。 ①潜水用具。 ②潜水用具。 Aqualang

あく【悪意】 ①悪意。 ②悪意。 ③悪意。 ④悪意。 malice

あく【悪運】 ①悪い運命。 ②不運。 ③悪い運命。 ④不運。 evil fate

あく【悪疫】 ①流行病。 ②流行病。 ③流行病。 ④流行病。 epidemic

あく【悪縁】 ①悪い縁。 ②病気の縁。 ③悪い縁。 ④病気の縁。 unlucky love

あく【悪感】 ①悪い感情。 ②悪い感情。 ③悪い感情。 ④悪い感情。 ill feeling

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity

あく【悪逆】 ①人道にそむいた行状。 ②人道にそむいた行状。 atrocity





あくぎょう【悪行】悪い行ない。「—の evil doings

あくさい【悪妻】夫のためにならぬ、よ bad wife

あくじ【悪事】①悪い行ない。②災難。 evil deed

あくじき【悪食】①粗末な食事。粗食。 Gross feeding

あくしつ【悪質】①たちが悪いこと。 wicked

あくしつ【悪疾】たちの悪い病気。なお malignant di-

あくしゆ【悪手】善や将棋で、不利にな bad move

あくしゆ【悪臭】いやなおい。不快 stench

あくしゆみ【悪趣味】好みが悪いこと。 bad habit

あくしゆみ【悪習慣】悪癖。悪弊。 bad habit

あくしゆみ【悪趣味】好みが悪いこと。 bad taste

あくじゆんかん【悪循環】悪い原因 vicious circle

あくしよ【悪書】内容のよくない本。読 vicious book

あくじよ【悪女】①性質の悪い女。②ぶがきりょうな女は愛情や嫉妬が強い。③ありがた迷惑のこと。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしよ【悪食】①あくじき。

あくしん【悪心】悪い考え。ねじけた evil thought

あくせい【悪声】①悪い声。②悪い評判。 harsh voice

あくせい【悪性】①たがが悪いこと。② ill nature

あくせく【餓饉】小事にこだわら、こせ toll and moil

あくセサリ ①付属品。②服装をかざ accessory

あくセル 自動車などの、足で踏む加速 accelerator

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくせん【悪銭】不正な手段で得た金 ill gotten mo-

あくどい【悪い】①していい。くだい。②たち heavy

あくどう【悪党】①悪者の集団。②悪 soundrel

あくどう【悪投】野球で、へたにボール bad throw

あくどう【悪童】いはずらっ子。わんば naughty boy

あくどく【悪徳】人の道にそむいた不正 vice

あくなき【飽くなき】どこまでもあき insatiable

あくにん【悪人】心の悪い人。悪者。悪 bad man

あくぬき【灰汁抜き】肉・野菜などのあ removal of har-

あくぬる【倦れる】いやになる。もて become weary

あくば【悪罵】口きたなくのしるこ slander

あくび【欠伸】眠いときや退屈したとき yawn

あくびつ【悪筆】①悪い筆。②悪筆。③ poor hand

あくひょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくどい【悪い】①していい。くだい。②たち heavy

あくどう【悪党】①悪者の集団。②悪 soundrel

あくどう【悪投】野球で、へたにボール bad throw

あくどう【悪童】いはずらっ子。わんば naughty boy

あくどく【悪徳】人の道にそむいた不正 vice

あくなき【飽くなき】どこまでもあき insatiable

あくにん【悪人】心の悪い人。悪者。悪 bad man

あくぬき【灰汁抜き】肉・野菜などのあ removal of har-

あくぬる【倦れる】いやになる。もて become weary

あくば【悪罵】口きたなくのしるこ slander

あくび【欠伸】眠いときや退屈したとき yawn

あくびつ【悪筆】①悪い筆。②悪筆。③ poor hand

あくひょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくびょう【悪評】悪い評判。悪いうわ III repute

あくまで【飽くまで】どこまでも。十
 あくむ【悪夢】恐ろしい夢。徹底的に悪
 夢。「にうなされる」
 あぐむ【倦む】もてあます。「攻め」
 アクメ 極点。性交のときの快感の
 極致。

to the last
 トウク・チー・ラスト
 bad dream
 バッド・ドリーム
 get weary of
 ゲット・ワイリー・オブ
 acme

あくめい【悪名】悪い評判。悪評。汚
 あくやく【悪役】芝居劇で、悪者の役。
 あくゆう【悪友】①悪い友人。②不良友
 っしょにする気のおけない友人
 あくよう【悪用】悪いことに利用するこ
 と。悪善用。

bad reputation
 villain's part
 ヴァイル・ズ・パート
 bad friend
 バッド・フレンド
 misuse
 ミスユース
 sit cross-legged
 ウィー
 wily

あぐら【胡座】足を組んですわること。
 あぐらつ【悪縁】非常にたちの悪いこ
 と。「非道」
 あぐりあみ【揚繰網】まき網の一種。
 底の網を締め漁獲する。イワンヤサバ、
 アジなどの漁獲に用いる。巾着網。
 アグリビジネス 農業の企業化。農作
 物の生産から保存・
 販売まで体系的・組織的運営をはかる。

evil spirit
 ル・スピリット
 grip
 グリップ
 agricultural
 business
 agricultural
 business
 purse seine
 パース・セイン

あぐりよう【悪霊】もののけ。
 あぐりよく【握力】物を握りしめる力。
 を測る計器。

Acrylite
 アクリライト
 Acrylic resin
 アクリリック・レジニ

アクリル樹脂でつくった
 色のは照明器具に使う。
 アクリルじゆし【樹脂】プラスチック
 の一種。塗料・接着材・風防ガラス・建築材
 料・照明器具など用途は広い。
 アクリルせんい【繊維】化学繊維
 の一種。
 毛布・服地・セーターなどに使う。

acrylic fibers
 アクリリック・ファイ
 バーズ
 bad example
 バッド・イクザンプル

あくれい【悪例】悪い先例。悪い慣例。
 「一をのこす」

bad example
 バッド・イクザンプル

アグレマン 大使・公使を派遣する前に、
 相手国の承認を得ること。
 アクロバット 曲芸。軽業。軽業師。
 あけ【朱】朱色。赤色。――に染まる。血
 を多量に染す。

agreement (n)
 acrobat
 Vermillion
 ヴァミリアン
 stain

あけ【明け】①夜明け。②開暮れ。③期間が
 終わること。「連休」
 あげ【揚げ】①油で揚げたもの。「精進
 揚げ」②あからあげの略。
 あげあし【揚げ足】①足をあげたこと
 を取る。相手のいいところを、言
 葉じりにつけこんでやりこめる。
 あげいし【上げ石】開暮で、攻めと
 ぶつた相手の石。
 あげいた【上げ板】板床の一部をど
 けあげたもの。揚げ板。
 あげく【挙句】しまい。結局。「一の果
 て」
 あげくれ【明け暮れ】毎日。
 あげさげ【上げ下げ】①朝晩。②日夜
 くりなしたり。「人を一する」
 あげしお【上げ潮】さしてくる潮。満ち
 潮。②下げ潮。③あつちり
 あげすけ【明け透け】と。あけつぼろ
 げ。「一にいう」

Agishi!
 loose floor board
 ルーズ・フロア・ボ
 ード
 dawn
 ドーン
 in the end
 イン・ザ・エンド
 day and night
 デイ・アンド・ナイト
 raising and
 lowering
 food tide
 フード・タイド
 Frank
 フランク
 raised bottom
 ライズド・ボトム
 Leyden jar
 ライデン・ジャー
 opening and
 shutting
 leave open
 リーブ・オープン
 trunk
 フランク

あけつぼろ【開けつぼろ】かきさ
 ず出すこと。またそのさま。

trunk
 フランク

あけつらう【論う】善悪をいいたる。
 あげて【挙げて】残らず。すべて。こそ
 あげど【揚げ戸】上に押し上げて開
 けの戸。
 あげのみようじよう【明けの明星】
 明け方、東の空に見える金星
 あげは【揚羽】アゲハチョウ科の昆虫。
 大型ちょう。黄と黒のまじったはねの
 あげはなす【開け放す】戸・窓などを開
 ける。
 あげば【明け番】①宿直など終えて
 退出すこと。下
 あげび【木通・通草】ビ科
 のつる性の落葉低木。秋
 に楕円形の甘い実が
 なる。きつぽはかいすなど
 を作るのに用いられる。
 あげふた【上げ蓋】ひ上
 げの蓋。
 あげば【曙】夜の明けの頃。あかつき。
 あげま【揚げ幕】舞台への出入り
 口にかけた幕。
 あげもの【揚げ物】油で揚げた食べ
 物。天ぷらやフ
 ライ。

argue
 アーグ
 whole
 ホール
 sash window
 サッシュ・ウィンドウ
 Venus
 ヴァイナス
 swallowtail
 スワロウテイル
 throw open
 スロウ・オープン
 off duty
 オフ・デューティ

あける【開ける】①朝に。②朝に。③期
 限が満了する。「年
 手」
 あける【開ける】①開く。②閉じる。③
 開く。「列の間を」
 あける【開ける】①開く。②閉じる。③
 開く。「列の間を」
 あける【開ける】①開く。②閉じる。③
 開く。「列の間を」

leave vacant
 リーブ・ヴェイカ
 ント
 dawn
 ドーン
 finish
 ファイニッシュ
 open
 オープン
 curtain
 커テン
 fried fish
 フライド・フィッシュ
 akebia
 アケビ



(アケビ)